



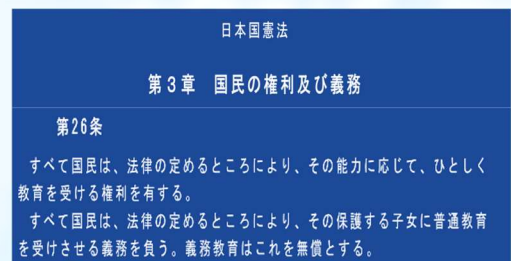
## 「すべての子どもたちに質の高い教育を」

稲垣 和美(Fem.'9)

1 人息子が小学校でいじめに遭ったことで年間約 40 万円の授業料を払ってでも地元を離れ私立の中学校に通うことにしました。息子が私立中学校に入学する前は私立に通う生徒はお金持ちか優秀な生徒か成績の悪い努力の足りない子どもが通う特別な学校だと思っていました。ところが昭和 49 年には高校への進学率は 90%を超え、現在では約 98%を超えているにも関わらず全員が入学できるだけの数の公立高校は無く約3割の生徒は私立高校に通わなくてはならないのが現状でした。

「日本国憲法第 26 条 すべての国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する～」にもかかわらず3割の生徒は高額な費用を必要とする高校での学びを選ばざるを得ないのです。教育を受ける場所は授業料に苦慮せず、子どもたちが学びたいことを学べる場所を自由に選ぶことが一番の理想だと思うのです。

そのために私立高校の授業料軽減のために活動をする団体「私学を良くする愛知父母懇談会」を知りお手伝いするようになりました。この団体の活動のひとつに私学助成軽減の為の署名集めがありそのことで知っている方もいらっしやるかも。



現在、公立高校の授業料は 118,800 円。私立高校の授業料の平均は 40 万円。実際にかかる授業料は公立高校は世帯年収が 910 万円未満なら無償化。

国の施策では私立高校に実際にかかる授業料は世帯年収が 590 万未満ならば無償化。

愛知県は私立高校への支援金を上積しているので世帯年収 720 万未満ならば無償化となっています。

現在 25 歳の息子が高校に入学した頃は世帯年収 350 万円未満が無償化だったのが今や 720 万円にアップ。大阪府では 2024 年から私立公立どちらも所得制限が無くなり高校の無償化が段階的にはじまります。他にも入学金の全額助成や奨学給付金も始まっています。

けれど、国の施策に県の施策が乗っかり施行されているので愛知県と大阪府の違いのように県ごとに支援金が大きく違います。名古屋市内の同じ私立高校に通っていても愛知県在住の生徒は 720 万円未満の世帯は無償化ですが三重県在住の生徒は 590 万円未満の世帯しか無償化になりません。また、公立高校の授業料は支援金との差額を払えばいいのですが私立高校は後日に差額分が戻ってきますがまず全額支払う必要があります。

まだまだ不十分ですがここまで支援金が増えたのは、ただ教育の大切さの機運が高まっただけではなく、子どもの数が減り一人にかかる金額を増やせるようになった経済、少子化対策が必要な社会など、教育・経済・社会の変化が繋がったからでしょう。



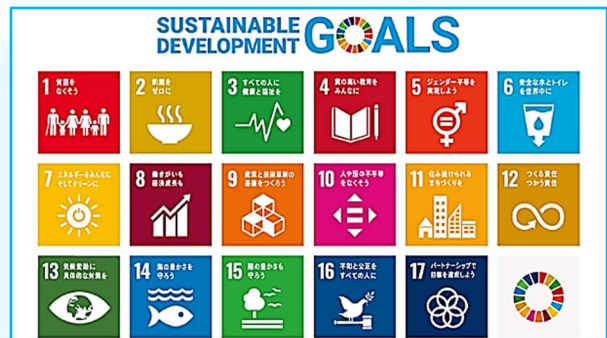
息子が高校1年の冬、これから大学へと

私学を良くする愛知父母懇談会 オータムフェスティバル

教育に大金をつぎ込む時期に主人が突然他界しました。以前から経済的な不安がある家庭ではありましたが私は「貧困の連鎖」に怯えるようになりました。親の貧困、環境によって子どもが豊かになれないなんて。子どもに申し訳なくて。貧困の連鎖を断ち切るためにはどうしたらいいのか？

そんな不安をSDGsの目標の第1が貧困をなくそう、第4が質の高い教育をみんなに、など「誰一人としてとり残さない」、17の目標はすべて、教育を受けて得た知識によって解決方法が導かれるとされていることを知り、年々教育への支援金が増えることで安堵できました。

すべての子どもたちが質の高い教育を受けることができ、親ガチャで出会った親の不遇に引きずられる人生では無く、自分で新たに人生を始め自分の能力と努力によって評価される生きかたが出来る社会になってもらいたいです。



## 2023 年度ウィルあいちフェスタ参加事業

### 手相占い ～自分の未来はこの手の中に～

佐野 裕香子(Fem.'9)

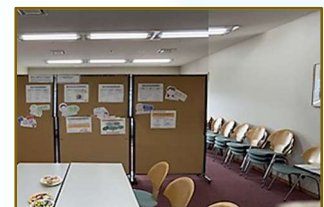
毎年恒例(去年は中止)の手相占いを～自分の未来はこの手の中に～のメッセージを込めて催しました。占い師 小野愛幸先生に手相をみて頂きたいと楽しみにしている方、これからの生活の指針に初めて参加された方など、36人が占って頂きました。ただ、残念に思ったのは、例年に比べ、フェスタに訪れる人が少なく、賑わいに欠けたことでした。

その他、パネル展示として今年度の交流ネットのテーマ

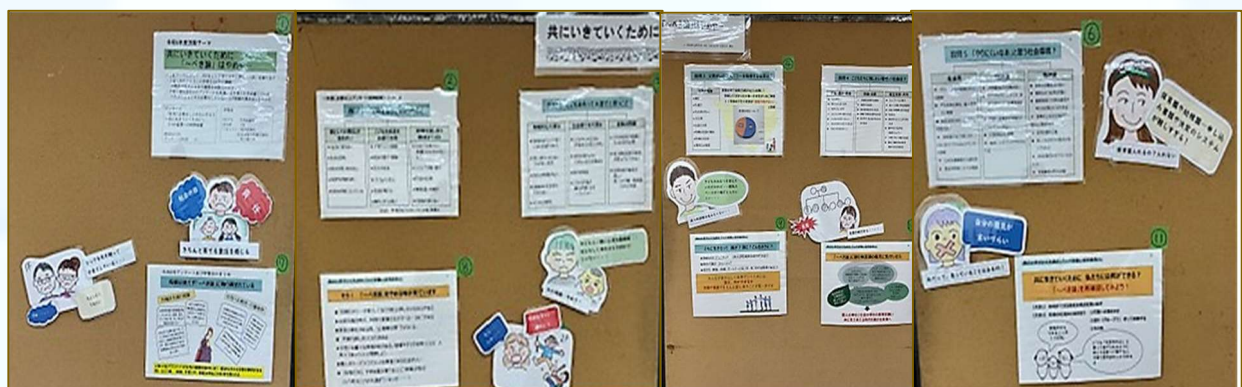
**「共に生きていくために「べき論」はやめやー」**

に沿って、子育て世代を中心に実施したアンケートや 8 月の学習会をもとにまとめた、パネル展示をしました。こうあるべきという概念を捨て、無意識な偏見がなくなって欲しいとの願いを込め作成しました。少しでも、思いが伝わっていれば、幸いです。

また、コロナがあげ、飲食が出来るようになり、お茶やお菓子で



くつろいで頂ける場所も設けました。食べて、おしゃべりをする、そんな時間が出来たことを嬉しく思います。ウィルあいちフェスタで、交流ネットの私たちの活動を皆さんに知って頂く機会があること、感謝しています。



## <いくさ世を生きる私たち～その後>

杉本 浩子(Amelie'10)

ロシアの侵攻を受けているウクライナの現在地を知ろうと、2023年2月25日玉本さんのお話を聞くセミナーを企画開催いたしました。私たちの学びたいという思いと70名余の参加者があり、会場が熱気に包まれていたのを今でも覚えています。今回は玉本さんから更なる活躍の映像を入手する機会があり、また財団のご理解もいただいたので、昨年度の思いを引継ぐ活動にしたいと、2回目の学習会を玉本さんへの募金依頼も含めて行いました。

### 第1部 ～玉本英子さん(映像ジャーナリスト)の映像を見て～

世界の戦況の説明(森田 登喜子)

1. ウクライナ ①侵攻の経過 ②侵略の理由 広域地図、都市名地図
2. イスラエルのガザ地区攻撃とハマスの支配 ①攻撃の経過 ②ガザ地区とは

時	場	訪問の様子	市民の声
'23 5月 中旬	ザ ポ リ ー ジ ャ 州	上空に爆撃音、近隣への爆撃の後がある中をウクライナの兵士に案内されて移動する玉本さん、この地域はロシアの偵察ドローンが飛行している地域。学校は破壊され、スクールバスさえも壊されている。 またオリヒウでは学校の地下に設けられた防空壕があり、200人程の避難者がいる。その多くは高齢者だ。 最前線のマラトクチカに残っている人に聞く様子。	副市長へのインタビュー 「この経験はつらく恐い」 ある高齢者は「自分の人生の判断は神がしてくれる」と言う。 高齢者「年金生活者は他に移ってもお金を支払う余裕はない。怖いけれど仕方がない」
'23 6月 4日	ヘル ソン 市 内	ロシアのドローンによる爆撃が続いている。 アントニフスキー橋で、ジャーナリストがロシアから狙撃された。 昨年8月に攻撃を受けた村の住民が逃げた家を訪問する。 庭にはグラード砲(BH-21)が刺さったままだ。	男性「ドニプロ川向こう岸に妻がいるが迎えに行くことはできない」 ナターシャ 72歳「隣国ロシアへの思いは複雑。自分の生活再建は遠い」
'23 8月		オレグ隊長との出会いの後、彼の訃報を聞く。ドイツに居た妻は葬儀に参列。バフムトにて6人の戦士の部下と共に果てたという。多くの参列者は彼の手柄を教える。	参列者の感想 「終わりの無い戦い」 「これがウクライナの日常」
'23 4月	ウ マ ニ	アパートへロシアからの砲弾、子ども6人住民23人が亡くなる。同級生を亡くした子どもたちの心理的影響が大きい。	弔問に来た子供の友人の声 「悪夢としか思えない」 「自分の近くでこんな事が、とても信じられない」



## 第2部 ワールドカフェトーク

○参加者13名で3グループになり、話し合った後、グループ発表をしました。

グループ1 稲垣和美さん	玉本さんからの報道の力によって、戦争の悪しき面が浮き彫りにされたと感じた。破壊、暴力、喪失の中で、生きる事の意味は何か考えさせられる。しかし一転して経済に目を向ければ、国の中で利益を追究する企業・国の側面もあり、人間の欲の連鎖も見逃すことはできない。今世紀最大の環境破壊を前に、茫然とするが、声をあげていきたい。
グループ2 金森淑英さん	戦争を繰り返す歴史を認めたとしても、悪しき過去を再燃させるのは、人類の成長とは言えない。個人の日常を支える宗教、教育、政治、経済どれ一つとっても争いの火種になってはいけないはずなのに、技術の進歩が生んだドローンで、敵地攻撃ができるようになったことは、これまでの戦争のルールさえも変えてしまっている気がする。陸続きの国同志の関係は、島国の文化では測りきれないものがあるが、常に弱者にしわ寄せが来るのは、どんな場合でも同じだと思った。
グループ3 杉本浩子さん	戦争は男性中心社会の弊害。略奪の中に豊かさは無い。時間はかかるが地域、土地、国を通して人と繋がり、そこから男女同じく命をはぐくみ育てる真の豊かさを獲得して欲しい。戦いの中にあっても、地下壕の生活が続いても、そこに花が飾られているのを映像の中で見た。日常を大切にすることも持ち続けていれば、報われると思いたい。我々は、常に無知であることを自覚して、人と繋がり合い、知る事を求め、更にとどのように行動すればいいのかを追い求めたい。
総評と感想 佐野裕香子 会長	◇人材育成セミナーでは「経済学からみた男女共同参画」だったが、ジェンダーギャップ指数の本当の見かたを知り、目からうろこの部分があった。日本は世界125位という順位に驚くばかりだが、項目設定や指数の陰に隠れている問題をしっかり理解していきたいし、こうした指数の中に、国ごとの争いの種が隠れているような気がした。 ◇学びの機会を女性だけで開催するのではなく、多様性を見据えた今後の学びの場の展開を期待している。

意見交換会は、さらに有意義な勉強会となったことでしょう。ご参加いただきありがとうございました。

### お知らせ！

ウィルあいち交流ネットセミナー

「自分のために辞書を編む」

2024年3月16日(土)

14:00~16:00

ウィルあいち3F 大会議室

ウィルあいち交流ネットセミナー2023  
**「自分のための辞書を編む」**  
 DVD上映と講演  
 ジェンダーについて理解を深め、態度、そして心をアップデートする～  
 DVD上映と講演  
 愛知教育大学の学長「ジェンダー・ダイナミクス」講演、から生まれた『辞書』自分のための辞書を編む、あなたも『辞書』の「自分のための辞書」を編むという活動を通じて、自分自身について思い、自らを育てていく作業です。そのための方法も共有いたします。  
 参加費用は無料となりますが、お申し込みは先着順となります。

講師  
 反橋 一樹(そりはし かずのり)  
 愛知教育大学ジェンダー・ダイナミクス研究センター  
 愛知大学教育政策、愛知大学大学院教育学部教育実践科学研究科博士課程  
 修士、研究科博士課程修了、専門は社会学、ジェンダー論、教育学。現在「教育、教育政策、教育実践」について研究を続けることができて、ジェンダー論に関わり続けることになる。

◇当日は大学生と若者に参加していただけます

日時 2024年3月16日(土)  
 14:00~16:00 ※開場13:30  
 場所 ウィルあいち 3階大会議室  
 入場料 600円(要入場券)

問い合わせ  
 公益財団法人あいち男女共同参画財団  
 企画推進課 電話 (052)962-2512  
 〒463-0016 名古屋市中区上三之角1番地

主催:ウィルあいち交流ネット 共催:あいち男女共同参画財団

申込受付期間  
 3月10日(土)～3月15日(金) 毎日10:00～18:00  
 【自分のための辞書を編む】上映時間  
 ① 14:00～16:00  
 ② 16:00～18:00  
 ③ 18:00～20:00  
 ※上映時間は、会場によって異なります。

申込方法  
 ① 会場に直接お申し込み  
 ② 電話予約  
 ③ ネット予約  
 ※申込みは、お申し込みの順番により、お申し込みの順番によって異なります。

申し込み方法  
 ウィルあいち交流ネットグループ所属の各グループ担当者までご連絡ください。  
 ※お申し込みの際は、お申し込みの順番によってお申し込みの順番によって異なります。  
 ※お申し込みの順番によってお申し込みの順番によって異なります。

申込料金は1名600円です。

会場アクセス  
 【会場】ウィルあいち3F 大会議室  
 【交通アクセス】  
 1. 名鉄名古屋駅より徒歩10分  
 2. 名鉄丸の内線「あいち」駅より徒歩10分  
 3. 名鉄丸の内線「あいち」駅より徒歩10分

ウィルあいち交流ネットは、2001年ウィルあいちセミナー等の修了生の自主活動グループが結成

さわらび会 / メンズリブ名古屋 / 女性学'98の会 / グループキーツ / ウィル 2000 / I.W.L / ウィル Do2002 / サーティネット'05 / ベリーズ 18 / Step07 / Fem.'09 / Amelie '10 / ひかるよ '15 / そだね! 2017 / Hey Say Final / Reiwa'19 / みつ 2020 / リモート 2021 / Women's cup'22

2024年1月発行

編集発行:ウィルあいち交流ネット 協力:(公財)あいち男女共同参画財団